



学校だより 9月号



石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和5年8月28日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

安全なインターネットの使い方について考える 南区子ども会議

児童支援専任教諭 新沼 睦美

夏休みが終わり、子どもたちは今日から登校となりました。夏休み中は、いかがお過ごしでしたでしょうか。再び学校生活が始まり、生活リズムが大きく変わると思います。特に夏休み明けは、登校への様々な不安を抱えている子どもも少なくないと思います。子どもの様子で何か気になること、不安に思われることなどがありましたら、いつでもご相談いただければと思います。子どもたちがスムーズに学校生活に戻れるよう、支援してまいりたいと思います。

タイトルにもある通り、8月31日（木）に南区子ども会議が開催されます。今年度のテーマは「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～いじめをなくすために、一人ひとりができること～」です。昨年度まで、5年にわたり、インターネットでもいじめのない社会のために「ネットの4K（確認する、管理する、気持ちを考える、困ったら相談する）」についての取組を行ってきました。今年度からはインターネット利用の現状を把握し、「ネットの4K」を生かして、子どもたちの安全なインターネットの使い方について考えていきます。

南区子ども会議に先立って、7月18日（火）に平楽中学校、中村小学校の代表児童たちと平楽中学校において、ブロック会議を行いました。そこでは、各学校のインターネット利用の現状についての情報交換を行い、課題について話し合いました。全校で行ったアンケートから見えてきた石川小学校の現状は、約半数の人たちがSNSを使っていて、その中で、嫌な思いをしたり、困ったことや悲しい思いをしたりした子どもは約10%となっています。数値としては多くはないかもしれませんが、その具体的な事柄としては、悪口を言われたりあおられたりしたという子どもが多かったです。また、夜遅くまでLINE等でのやりとりをしていたり、個人情報に関わる事柄があったりと、インターネットの使い方としてかなり問題となるようなこともありました。やはりインターネットでの問題は、徐々に深刻化してきていると思われます。

学校では、毎年南警察署のスクールサポーターの方にもご協力を得て、インターネットの危険性について伝えるとともに、身を守るためにどうしたらよいのかについても指導をいただいています。今、インターネットに関わる問題が他校でも多くなっています。問題が大きくなり、解決が難しくなってしまうケースも見受けられています。ネットトラブルの問題は、何をしているのか表に見えにくいからこそ、大人が気付いた時にはいつのまにか問題が広がり、大きくなってしまっていることです。ご家庭でも、こまめに子どもたちが安全に使えるか確認をしたり、話題にしたりしていただくことが、子どもたちの安心と安全につながると考えます。

インターネットの問題は、子どもたちだけの問題ではありません。ぜひ、よりよい使い方について、今一度子どもたちと一緒に見直していただく機会を設けていただければと思います。